

平成 27 年度京都大学吉田地区 ESCO 事業提案審査の講評

京都大学吉田地区 ESCO 事業は、民間のノウハウ、経営能力及び技術的能力を活用することによって、京都大学における省エネルギー化を推進し、環境負荷の低減並びに光熱水費の効果的な削減を図ることを目的としたものであります。先般、平成 27 年度事業に対して、広く事業提案を募集したところ 2 企業グループから参加表明及び選考用提案書が提出されました。

京都大学吉田地区 ESCO 事業審査委員会は、これらの提案書に基づき各企業グループのプレゼンテーションを受けヒアリングを行うとともに、提案審査要領に則り厳正かつ慎重に審議した結果、最優秀提案者として(株)OGCTS を代表者とするグループ、優秀提案者として(株)関電エネルギーソリューションを代表者とするグループを選定しました。

最優秀提案では、コミッショニングを適用した運用改善について熱源運転順序の見直しに加え冷却水送水温度の設定変更などの提案があり、さらに ESCO サービス期間終了の平成 29 年度末まで PDCA サイクルによりさらなる改善項目の抽出を行うなど実施体制が充実し運用改善プロセスが明確であったことが認められました。また、改修対象エリアについてほぼ全数の照明器具を LED 照明に更新し用途に合わせた LED 照明を選定していること、室外機の台数制御による部分負荷効率に優れた超高効率ガスヒートポンプの採用、高効率タイプへのガス吸収式冷温水機への更新などの提案がなされ、計画に具体性・妥当性があり、省エネルギー率が大きいことを高く評価しました。

また、優秀提案では、照明の LED 化や、高効率エアコンへの更新、高効率ヒートポンプチラーへの更新など、対象とする全ての建物で必要な CO₂ 削減が達成され全体としてバランス良く計画されているとともに、省エネルギー量の算出根拠に妥当性があること、ESCO サービス期間中の緊急時の対応や維持管理が優れていることなどが評価されました。

今回の募集に際しては、初めての試みとしてコミッショニングを適用した運用改善を必須項目としたところ、各グループとも現状の運用状態を検証・分析し具体的な問題点を提示したうえで、優れた改善提案がありました。また、LED 照明の導入などライフサイクルでみた廃棄物や環境負荷低減を目指す取組みなどが盛り込まれていました。

本事業の実施にあたり、こうした高い技術力と多角的な視点に基づいた貴重な提案をいただき、かつ多大な労力をご提供いただいた提案者に、心から敬意と感謝の意を表しお礼を申し上げます。

平成 27 年 10 月 23 日

京都大学吉田地区 ESCO 事業審査委員会委員長
塩路 昌宏